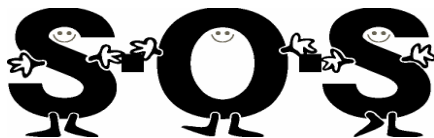


vol. 102通信 (平成21年2月10日発行)



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

ナイス・ホーム休止のお知らせ

平成21年1月17日、保険者（津島市）に地域密着型小規模多機能型住宅介護事業ナイス・ホームの休止届を提出しました。開設から約1年、多様な情報や状況の中、どういったサービス提供を提案したら良いのか等、小規模ならではの解決策や対応策等を求め、津島市の担当の方や他の小規模事業所の方々と相談したり、各地域で開催される研修会に参加して全国各地の情報をかき集めてみたり・・・また、家族や地域の方々・医療機関・他事業所等との連携を取り、それなりの関係が出来てきた時期でした。登録者も増え、“地域密着・小規模・多機能”であることの意義を実感すればするほど、関係した皆様方にご期待いただきながらもそれに応え続けることが出来なくなってしまったことを申し訳なく思います。小規模多機能と言う制度の柔軟さがあるが故に、気付かないうちに関わりすぎてしまう部分もあり、職員自ら、知力・体力・精神力が限界になってしまう状況を作り上げてしまっていたことも原因のひとつでした。住み慣れた地域（自宅）でできる限り安心して過ごせるように・・・という目的を掲げ開設したはずが、実際に利用登録されていた方には要介護3・4・5の重度の認知症や身体障害を持つ方が多く、自宅で過ごす事のほうが少ないような状況でした。また、条件さえ満たせば期限なく泊まりが利用できるという風評で、施設待ちの方の受入に関する問い合わせも多くありました。ナイス・ホームを再開できる時には、小規模多機能型住宅介護の制度を正しく周知し、この地域で、制度本来の目的を果たせるよう、適正な関わりを持てる事業所になりたいと考えています。



＜恵方巻きに丸かぶり！/ナイス・デイ＞

節分の日。午前中に大きな声で豆まき＆鬼退治をしました。鬼に仮装したスタッフは、周囲を囲まれているので逃げて逃げてもお手玉攻撃をくらい最後は降参・・・。昼食は毎年恒例となっている恵方巻きです。今年の恵方、東北東を向いて豪快にかぶりつき！いつも以上にパクパクと食が進んでいました。ちなみに、この日のおやつも手作りの「巻きもの」（ロールケーキ）です。福を巻いて呑み込む。だからこそ巻物を食べる。縁起の良い年にしたいものです。



＜事務所機能の拠点を新設/S・O・S＞

昨年の12月から工事が始まっています。用途は事務所。現在は事務所建物が敷地の一番奥にあり、（来訪された方はお分かりと思いますが）『事務所は何処？？？』というような感じで見られてしまう建物なんです。今まで多様な事業を展開してきたのに、全ての手続きを行うための『事務所は何処？』ではいかんです！！大きな出費にはなるけれど、来訪される方に極力不便を掛けないように、また、落ち着いた環境を作り、効率の良い事務作業が出来るように。そして、事務所の2階は、自社研修会などを開催可能な場所として使用する予定です。



＜日中の/愛宕の家＞

88歳のWさんの膝につかまり立ちしているのは1月に1歳の誕生日を迎えたばかりの子。「まだ歩かんのかね。早くある・け～」と笑みを含んだ話しかけが見られました。日頃の様子を考えると、やっぱり多世代交流だからこその言葉掛けだなあと感心。でも、もう少し大きくなったらお兄ちゃん達のように「うるさい！！」って怒られるようになってっやうんだよね。



＜思い込み/ナイス・ケア＞



訪問介護のスタッフは、一日に4件～9件のお宅を訪問することが多く、訪問先と訪問先の合間に事務所へ立寄ります。その訪問スタッフ同士が情報を交換するのは大変なこと。先日、事務所内で伝言を読み、その件で利用者さんに話しかけた際に怪訝な反応をされました。事務所に戻り、再度確認してみると、思い込み間違いだと判明。さっそく利用者さんに連絡を行いました。伝言をする側は、自分自身の価値観や感情で記録を残し、その伝言を受け取る側は受け取る側の価値観や感情で考えてしまいます。またもや日本語の難しさを痛感しています。

＜作成中/ナイス・デイ＞

今年は、誕生日を迎える利用者さんに写真を貼った手作り誕生日カードをプレゼントしています。今月、誕生日のNさんのために事務所でカードを作成中。写真を選び、貼り付け、飾りつけ・・・利用者さんの喜ぶ顔を思い浮かべながらの作業。プレゼントされたカードを家族の方にも見ていただいで、日頃の様子を感じていただけると幸いです。



＜散歩？徘徊？/ナイス・デイ＞



陽気が良かったからか、外に出ようとされる行為がちよくちよく見られ、その度に職員がお付き合いしています。一日に何回も、近くの川まで、隣の畑まで。時と場合に応じてしばらく歩き続けることもあります。そんな時、デイのフロアに居る方達に関わる職員が一人少なくなってしまう。できる限り外に出なくても落ち着いて過ごせる場所作りを目指したいと考えますが中々・・・。

＜つるし雛/愛宕の家＞

誤嚥性の肺炎で入院一ヶ月ぶりに愛宕の家に帰ってこられたKさん。少しずつ体力が回復し、ベットから起きていられる時間も長くなってきています。ご家族が来訪されるときは特に嬉しそう。この日は、奥さんがひ孫さんのために作った「つるし雛」を見せに来てくれました。『ひ孫にプレゼントする前に主人にも見てもらいたくてね』と照れくさそうに話してくれました。ひ孫ちゃんのことを思い出し懐かしそうでした。体調が安定したら以前のように家族の皆さんで談笑する時間を持てるようになりますよ♪



＜退職・採用・移動・育児休暇/S・O・S＞

退職した職員（介護・看護）がいるから、新しい職員（介護・看護・事務・総務）もいる。個々の事情があり、やむなく退職を選んだ人には「機会があればまた一緒に働きましょう。」と伝えています。先日は、現在育休中のスタッフが子供達を連れて遊びに来ました。『もう帰るよ！』と言われても『しごととしていいよ。』と返され、泣く泣く生後約2ヶ月の女の子を事務所に預け他の子供たちも引きつれ遊びに行きましたとさ。お疲れ様。



＜編集後記＞

まだまだ若いつもりで私・・・「身体もしっかり動くわ」と思っていた矢先、突然お尻の付け根に痛みが走りました。坐骨神経痛ですって。幸い症状は軽く大事には至らず、その後は何事もないのが幸いです。介護に携わる人の中で、腰痛や肩こりの悩みを持つ人は少なくありません。良い介護を続けるには、介護する側が心も身体も元気であることが大切。でも、疲れているときに、声を掛けてもらえたときは“しまった、見抜かれた”と思うけど、ちょっと嬉しかったりもして、複雑です。(M)